

## 事後評価に係る資料【港湾整備事業】

令和4年12月13日



港湾空港部

# 目 次

1.位置図	1
2.四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業	
2-1.事業評価カルテ(事後評価)	2
2-2.費用便益の概要	3
2-3.費用便益分析シート	4
2-3-1.別添資料	5
2-4.事業費等内訳書	8

# 1. 事業評価対象箇所

(第4回中部地方整備局事業評価監視委員会審議対象)

評価対象港湾	
国際拠点港湾 重要港湾 避難港	



2. 四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業  
2-1. 事業評価カルテ(事後評価)

事業名	四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業		担当課	中部地方整備局港湾空港部 港湾計画課	事業主体	中部地方整備局				
			担当課長名	渡邊 弘						
実施箇所	三重県 四日市市									
該当基準	事業完了後一定期間が経過している事業									
主な事業の諸元	岸壁(水深14m)、泊地(水深14m)、防波堤(霞)、道路(霞4号幹線)、ふ頭用地、荷役機械									
事業期間	事業採択	平成13年度	完了	平成30年度						
総事業費(億円)	前回評価時	823		完了時	820					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存岸壁では増加するコンテナ貨物を取り扱う能力が不足する見込みであった。</li> <li>既存岸壁の水深不足により大型化するコンテナ船が入港出来ず非効率な輸送形態を強いられる。</li> <li>港湾周辺の道路が混雑しており、港湾関連交通の定時性・即時性が確保できない。</li> <li>出島形式である霞ヶ浦地区へのアクセスルートが霞大橋1箇所に限定されており、利用者から複数のルート確保が望まれている。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>国際海上コンテナターミナルを整備することにより、コンテナ貨物取扱能力不足に対応することで輸送効率化を図るとともに、大規模地震時の交通リダンダンシーの確保を図る。</p> <p>①貨物輸送の効率化 ②船舶大型化への対応 ③周辺道路の混雑緩和や環境負荷の軽減などの沿道環境の改善 ④震災時における交通リダンダンシーの確保</p>									
上位計画の位置づけ	<p>◆国土形成計画(全国計画)(平成27年8月14日閣議決定)</p> <p>第1部 第3章 第1節(3)③グローバルな「対流」促進の強化(国際競争力を有する物流網の構築)</p> <p>第2部 第4章 第1節(1)国際交通拠点の競争力強化(国際的な物流拠点の形成に向けた取組)</p> <p>第2部 第5章 第2節(2)インフラ機能の強化・高度化</p> <p>◆第5次社会資本整備重点計画(令和3年5月28日閣議決定)</p> <p>第3章 第2節 1. 重点目標1:防災・減災が主流となる社会の実現【1-3:災害時における交通機能の確保】</p> <p>第3章 第2節 3. 重点目標3:持続可能で暮らしやすい地域社会の実現【3-2:新たな人の流れや地域間交流の促進のための基盤整備】</p> <p>第3章 第2節 4. 重点目標4:経済の好循環を支える基盤整備【4-1:サプライチェーン全体の強靱化・最適化】</p> <p>◆経済財政運営と改革の基本方針 2022(令和4年6月7日閣議決定)</p> <p>第2章 新しい資本主義に向けた改革 2. 社会課題の解決に向けた取組 (3)多極化・地域活性化の推進</p> <p>◆港湾の開発・利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針(令和2年3月13日告示)&gt;</p> <p>II 港湾の配置、機能及び能力に関する基本的な事項</p> <p>1 特に戦略的に取り組む事項に係る基本的な事項</p> <p>(1)我が国の産業と国民生活を支える海上輸送網の構築と物流空間の形成</p> <p>(2)資源・エネルギー・食糧の安定確保を支える国際海上輸送網の構築</p> <p>(4)我が国及び地域の基幹産業・地場産業を支える物流機能の強化と港湾空間の形成</p> <p>◆四日市港港湾計画(平成23年4月改訂、平成23年12月一部変更)</p>									
事業の多面的な効果	<p>■政策目標・施策目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政策目標:国際競争力、観光交流、広域・地域連携等の確保・強化。</li> <li>施策目標:海上輸送基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する。</li> </ul>									
	<p>■定性的・定量的な効果</p> <p>&lt;定性的な効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貨物の陸上輸送距離の短縮によるCO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>等の排出量の削減</li> <li>物流機能の効率化・高度化、国際競争力の強化</li> <li>港湾関連交通の周辺道路へ与える負荷を抑え、周辺道路の渋滞、沿道環境の改善に寄与</li> <li>複数アクセスルート確保による災害時等の交通リダンダンシーの確保</li> </ul> <p>&lt;定量的な効果&gt;</p> <p>当該事業を実施することにより、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四日市港のコンテナ取扱能力不足が解消され、他港を利用する非効率な物流が改善。陸上輸送距離の短縮により輸送コストが削減される。</li> <li>周辺道路を含め交通が円滑化し、輸送時間の短縮・輸送コストの削減が図られる。</li> </ul>									
費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>○事業費:823億円(H28年度再評価) →820億円(R4年度事後評価)</p> <p>○事業期間:平成13年度～平成30年度(H28年度再評価) →平成13年度～平成30年度(R4年度事後評価)</p> <p>※臨港道路本体部:平成29年度</p> <p>○便益の主な根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸送コストの削減:50.0億円(平成30年予測コンテナ取扱貨物量:10.2万TEU/年)(H25年度再評価) →46.7億円(令和4年予測コンテナ取扱貨物量:9.9万TEU/年)(R4年度事後評価)</li> <li>交通の輸送コストの削減:15.4億円(平成30年予測臨港道路交通量:9,838台/日)(H25年度再評価) →27.5億円(令和4年予測臨港道路交通量:5,368台/日)(R4年度事後評価)</li> </ul> <p>※平成28年度は一括審議</p>									
事業全体の投資効率性	基準年度		令和4年度							
	B:総便益(億円)	2,204	C:総費用(億円)	1,660	EIRR (%)	5.7	B-C	545	全体B/C	1.3
事業実施による環境の変化	事業実施により他港を利用する非効率な輸送体系が解消された。									
社会経済情勢等の変化	特になし									
今後の事後評価の必要性	整備目的どおりの効果が発現していることから、今後の事業評価の必要はないと考える。									
改善措置の必要性	整備目的を達成していると判断できるため、改善の必要性はないと考える。									
同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直し等の必要性はないと考える。									
対応方針	事業の目的に対する効果を発現しており、今後の事後評価及び改善措置の必要性はないと考える。									
対応方針理由	整備目的どおりの効果を発現しているため。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> ・対応方針(案)は妥当である。									

2-2. 費用便益の概要

四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業

費用便益の概要

便益

項目	区分	単位当りの便益			便益(代表年)	
			単位	備考		単位
利用者便益	ターミナルによる輸送コストの削減	47	千円/TEU	陸上及び海上輸送コストの削減効果	47	億円/年
	臨港道路による輸送コストの削減、交通事故の削減	1	千円/台	輸送コストの削減、交通事故の削減	27	億円/年

\*便益の算出にあたっては、以下を参照。

①便益の算出にあたっては、「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(平成29年3月)」を参照

費用

費用項目	建設費、管理運営費 等
事業の対象施設	岸壁(水深14m)、泊地(水深14m)、防波堤(霞)、臨港道路(霞4号幹線)、ふ頭用地、荷役機械

四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業（事業全体）

費用便益分析シート（割引前）

年度	割引前 (億円)										
	施設 供用 期間	建設費・ 再投資費	管理 運営費	総費用 (C)	輸送コスト 削減便益	臨港道路 走行時間 短縮便益	臨港道路 走行経費 減少便益	臨港道路 交通事故 減少便益	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B-C)
2000											
2001		52.3		52.3						-52.3	
2002		60.6		60.6						-60.6	
2003		92.4		92.4						-92.4	
2004		121.8		121.8						-121.8	
2005		75.9		75.9						-75.9	
2006	1	59.6	0.24	59.9	26.3				26.3	-33.6	
2007	2	30.9	0.23	31.1	29.4				29.4	-1.7	
2008	3	25.2	0.22	25.5	27.1				27.1	1.7	
2009	4	40.8	0.23	41.0	24.0				24.0	-17.0	
2010	5	20.3	0.23	20.5	28.1				28.1	7.5	
2011	6	17.0	0.23	17.3	30.0				30.0	12.7	
2012	7	23.4	0.23	23.6	34.9				34.9	11.2	
2013	8	29.8	0.22	30.0	33.3				33.3	3.2	
2014	9	38.1	0.21	38.4	32.2				32.2	-6.1	
2015	10	54.2	0.21	54.4	32.3				32.3	-22.1	
2016	11	81.0	0.33	81.4	36.4				36.4	-44.9	
2017	12	75.8	0.33	76.1	44.4				44.4	-31.7	
2018	13	32.6	0.46	33.1	47.4	23.0	3.6	1.0	75.0	41.9	
2019	14		0.45	0.5	54.3	23.0	3.6	1.0	82.0	81.6	
2020	15		0.45	0.5	47.4	23.0	3.6	1.0	75.0	74.6	
2021	16		0.43	0.4	47.0	23.0	3.6	1.0	74.7	74.2	
2022	17	16.0	0.43	16.4	47.0	23.0	3.6	1.0	74.6	58.2	
2023	18		0.43	0.4	47.0	23.0	3.6	1.0	74.6	74.2	
2024	19		0.43	0.4	47.0	23.0	3.6	1.0	74.6	74.2	
2025	20		0.43	0.4	47.0	23.0	3.6	1.0	74.6	74.2	
2026	21		0.43	0.4	23.5	23.0	3.6	1.0	51.2	50.7	
2027	22		0.43	0.4	23.5	23.0	3.6	1.0	51.2	50.7	
2028	23		0.43	0.4	23.5	23.0	3.6	1.0	51.2	50.7	
2029	24		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2030	25		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2031	26		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2032	27		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2033	28		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2034	29	9.4	0.43	9.8	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	58.3	
2035	30		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2036	31		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2037	32		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2038	33		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2039	34		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2040	35	16.0	0.43	16.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	51.7	
2041	36		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2042	37		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2043	38		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2044	39		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2045	40		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2046	41		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2047	42		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2048	43		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2049	44		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2050	45		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2051	46		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2052	47	9.4	0.43	9.8	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	58.3	
2053	48		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2054	49		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2055	50		0.43	0.4	40.4	23.0	3.6	1.0	68.1	67.6	
2056	51				40.4	23.0	3.6	1.0	48.8	116.9	
合計		982.5	19.3	1,001.8	1,923.3	874.8	137.6	39.1	48.8	3,023.6	2,021.7

【全体事業】

費用便益分析シート（割引後）

EIRR= 5.7% NPV= 545 億円  
B/C= 1.3

年度	割引後 (億円)												
	施設 供用 期間	社会的 割引率	建設費・ 再投資費	管理 運営費	総費用 (C)	輸送コスト 削減便益	臨港道路 走行時間 短縮便益	臨港道路 走行経費 減少便益	臨港道路 交通事故 減少便益	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B-C)	
2000			2.37										
2001			2.28	119.1	119.1							-119.1	
2002			2.19	132.8	132.8							-132.8	
2003			2.11	194.8	194.8							-194.8	
2004			2.03	246.7	246.7							-246.7	
2005			1.95	147.9	147.9							-147.9	
2006	1		1.87	111.7	0.45	112.1	49.2				49.2	-62.9	
2007	2		1.80	55.7	0.41	56.1	53.0				53.0	-3.1	
2008	3		1.73	43.7	0.38	44.1	47.0				47.0	2.9	
2009	4		1.67	68.0	0.38	68.3	40.0				40.0	-28.3	
2010	5		1.60	32.5	0.37	32.9	44.9				44.9	12.1	
2011	6		1.54	26.2	0.35	26.6	46.2				46.2	19.6	
2012	7		1.48	34.6	0.34	35.0	51.6				51.6	16.6	
2013	8		1.42	42.4	0.31	42.7	47.3				47.3	4.6	
2014	9		1.37	52.2	0.29	52.5	44.1				44.1	-8.4	
2015	10		1.32	71.3	0.28	71.6	42.5				42.5	-29.1	
2016	11		1.27	102.5	0.42	103.0	46.1				46.1	-56.9	
2017	12		1.22	92.2	0.40	92.6	54.0				54.0	-38.6	
2018	13		1.17	38.2	0.54	38.7	55.4	26.9	4.2	1.2	87.8	49.0	
2019	14		1.12		0.51	0.5	61.1	25.9	4.1	1.2	92.3	91.7	
2020	15		1.08		0.49	0.5	51.2	24.9	3.9	1.1	81.2	80.7	
2021	16		1.04		0.45	0.5	48.9	23.9	3.8	1.1	77.6	77.2	
2022	17		1.00	16.0	0.43	16.4	47.0	23.0	3.6	1.0	74.6	58.2	
2023	18		0.96		0.41	0.4	45.2	22.1	3.5	1.0	71.8	71.3	
2024	19		0.92		0.40	0.4	43.4	21.3	3.4	1.0	69.0	68.6	
2025	20		0.89		0.38	0.4	41.8	20.5	3.2	0.9	66.4	66.0	
2026	21		0.85		0.37	0.4	20.1	19.7	3.1	0.9	43.7	43.4	
2027	22		0.82		0.35	0.4	19.3	18.9	3.0	0.9	42.1	41.7	
2028	23		0.79		0.34	0.3	18.6	18.2	2.9	0.8	40.4	40.1	
2029	24		0.76		0.33	0.3	30.7	17.5	2.8	0.8	51.7	51.4	
2030	25		0.73		0.31	0.3	29.5	16.8	2.7	0.8	49.7	49.4	
2031	26		0.70		0.30	0.3	28.4	16.2	2.5	0.7	47.8	47.5	
2032	27		0.68		0.29	0.3	27.3	15.6	2.5	0.7	46.0	45.7	
2033	28		0.65		0.28	0.3	26.2	15.0	2.4	0.7	44.2	43.9	
2034	29		0.62	5.9	0.27	6.1	25.2	14.4	2.3	0.6	42.5	36.4	
2035	30		0.60		0.26	0.3	24.3	13.8	2.2	0.6	40.9	40.6	
2036	31		0.58		0.25	0.3	23.3	13.3	2.1	0.6	39.3	39.0	
2037	32		0.56		0.24	0.2	22.4	12.8	2.0	0.6	37.8	37.6	
2038	33		0.53		0.23	0.2	21.6	12.3	1.9	0.6	36.3	36.1	
2039	34		0.51		0.22	0.2	20.7	11.8	1.9	0.5	35.0	34.7	
2040	35		0.49	7.9	0.21	8.1	19.9	11.4	1.8	0.5	33.6	25.5	
2041	36		0.47		0.20	0.2	19.2	10.9	1.7	0.5	32.3	32.1	
2042	37		0.46		0.20	0.2	18.4	10.5	1.7	0.5	31.1	30.9	
2043	38		0.44		0.19	0.2	17.7	10.1	1.6	0.5	29.9	29.7	
2044	39		0.42		0.18	0.2	17.0	9.7	1.5	0.4	28.7	28.5	
2045	40		0.41		0.17	0.2	16.4	9.3	1.5	0.4	27.6	27.5	
2046	41		0.39		0.17	0.2	15.8	9.0	1.4	0.4	26.6	26.4	
2047	42		0.38		0.16	0.2	15.2	8.6	1.4	0.4	25.5	25.4	
2048	43		0.36		0.16	0.2	14.6	8.3	1.3	0.4	24.6	24.4	
2049	44		0.35		0.15	0.2	14.0	8.0	1.3	0.4	23.6	23.5	
2050	45		0.33		0.14	0.1	13.5	7.7	1.2	0.3	22.7	22.6	
2051	46		0.32		0.14	0.1	13.0	7.4	1.2	0.3	21.8	21.7	
2052	47		0.31	2.9	0.13	3.0	12.5	7.1	1.1	0.3	21.0	18.0	
2053	48		0.30		0.13	0.1	12.0	6.8	1.1	0.3	20.2	20.0	
2054	49		0.29		0.12	0.1	11.5	6.6	1.0	0.3	19.4	19.3	
2055	50		0.27		0.12	0.1	11.1	6.3	1.0	0.3	13.4	32.0	
2056	51		0.26									31.9	
合計				1,644.9	14.6	1,659.5	1,539.0	542.4	85.3	24.3	13.4	2,204.4	544.9

2-3-1別添資料 With-Without表

〔輸送コスト削減便益〕

対象プロジェクトの実施により、荷主は近傍の四日市港が利用できるため、整備しない場合に想定される他港利用に比べ、荷主と港湾間の陸上・海上輸送コストが短縮された。

(1) 東南アジア航路(代表年)

項目		単位	Without時	With時	Without時	With時	Without時	With時	備考	
			三重県		滋賀県		岐阜県			
利用港湾			大阪港	四日市港	大阪港	四日市港	大阪港	四日市港	船型: 2,900TEU	
① 年間貨物量	個数	TEU/年	69,379		15,891		623		W80: R3実績	
	輸出 20ft	個/年	10,508	10,508	1,303	1,303	113	113		
	輸出 40ft	個/年	13,585	13,585	1,684	1,684	146	146		
	輸入 20ft	個/年	9,973	9,973	3,530	3,530	68	68		
	輸入 40ft	個/年	10,864	10,864	3,845	3,845	75	75		
	タイプ別個数	20ft 計	個/年	20,481	20,481	4,833	4,833	181		181
	40ft 計	個/年	24,449	24,449	5,529	5,529	221	221		
出入別個数	輸出 計	個/年	24,093	24,093	2,987	2,987	259	259		
	輸入 計	個/年	20,837	20,837	7,375	7,375	143	143		
② 陸上輸送距離(片道)	一般道路	km	123.2	23.3	104.3	62.7	157.8	55.3	加重平均距離	
	高速道路	km	20.9	4.7	32.4	14.3	49.2	9.3		
	高速あり計	km	144.1	28.0	136.7	77.0	207.0	64.6		
	一般道路	km	141.6	28.1	145.5	76.4	217.2	65.1		
	往復	km	285.7	56.1	282.2	153.4	424.2	129.7		
③ 陸上輸送単価	20ft	円/個	123,450	45,440	123,450	85,700	157,360	75,540	解説書(p.2-1-32)	
	40ft	円/個	183,860	70,680	183,860	130,800	231,290	116,410		
	高速費	円/個	1,564	468	2,342	1,117	3,478	779		
④ 年間陸上輸送費用	20ft	千円/年	2,560,409	940,241	607,952	419,588	29,112	13,814	④=①*③	
	40ft	千円/年	4,533,429	1,739,496	1,029,510	729,371	51,884	25,899		
	計	千円/年	7,093,838	2,679,737	1,637,462	1,148,960	80,996	39,713		
⑤ 陸上走行速度	一般道路	km/h	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	解説書(p.2-1-28)	
	高速道路	km/h	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4		
⑥ 陸上輸送時間	一般道路	時間	3.7	0.7	3.1	1.9	4.7	1.7	⑥=②/⑤	
	高速道路	時間	0.3	0.1	0.4	0.2	0.7	0.1		
	計	時間	4.0	0.8	3.6	2.1	5.4	1.8		
⑦ 時間費用単価	輸出 20ft	円/時・個	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	解説書(p.2-1-34)	
	輸出 40ft	円/時・個	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300		
	輸入 20ft	円/時・個	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200		
	輸入 40ft	円/時・個	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800		
⑧ 年間陸上輸送時間費用	輸出 20ft	千円/年	67,251	13,450	7,505	4,378	976	325	⑧=①*⑥*⑦	
	輸出 40ft	千円/年	124,982	24,996	13,944	8,134	1,813	604		
	輸入 20ft	千円/年	47,870	9,574	15,250	8,896	441	147		
	輸入 40ft	千円/年	78,221	15,644	24,916	14,534	729	243		
	計	千円/年	318,324	63,665	61,614	35,942	3,959	1,320		
⑨ 年間陸上輸送費用 計		千円/年	7,412,162	2,743,402	1,699,076	1,184,901	84,955	41,032	⑨=④+⑧	
⑩ 海上輸送距離(片道)		海里	2,710	2,792	2,710	2,792	2,710	2,792	距離表(海上保安庁)	
⑪ 海上輸送速度		ノット	15.1	15.1	15.1	15.1	15.1	15.1	解説書(p.2-1-30)	
⑫ 輸送時間		日	7.5	7.7	7.5	7.7	7.5	7.7	⑫=⑩/⑪/24h	
⑬ 海上輸送単価	20ft	円/個	32,005	32,857	32,005	32,857	32,005	32,857	解説書(p.2-1-33)	
	40ft	円/個	47,973	49,249	47,973	49,249	47,973	49,249		
⑭ 年間海上輸送費用	20ft	千円/年	655,499	672,936	154,681	158,796	5,793	5,947	⑭=①*⑬	
	40ft	千円/年	1,172,892	1,204,089	265,243	272,298	10,602	10,884		
	計	千円/年	1,828,390	1,877,025	419,924	431,094	16,395	16,831		
⑮ 時間費用単価	輸出 20ft	円/時・個	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	解説書(p.2-1-34)	
	輸出 40ft	円/時・個	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300		
	輸入 20ft	円/時・個	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200		
	輸入 40ft	円/時・個	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800		
⑯ 年間輸送時間費用	輸出 20ft	千円/年	3,010,164	3,098,935	373,263	384,270	32,370	33,325	⑯=①*⑫*24h*⑮	
	輸出 40ft	千円/年	5,594,194	5,759,171	693,458	713,908	60,122	61,895		
	輸入 20ft	千円/年	2,142,679	2,205,868	758,413	780,780	14,610	15,041		
	輸入 40ft	千円/年	3,501,163	3,604,414	1,239,136	1,275,679	24,170	24,883		
	計	千円/年	14,248,200	14,668,388	3,064,270	3,154,637	131,272	135,143		
⑰ 年間海上輸送費用 計		千円/年	16,076,591	16,545,413	3,484,193	3,585,730	147,667	151,974	⑰=⑭+⑯	
⑱ 年間輸送コスト削減便益		千円/年	23,488,753	19,288,815	5,183,270	4,770,632	232,622	193,007	⑱=⑨+⑰	
		千円/年	4,199,938		412,638		39,615			
		億円/年	42.0		4.1		0.4			

(2) 中国航路(代表年)

項目		単位	Without時	With時	Without時	With時	Without時	With時	備考
背後圏			三重県		滋賀県		岐阜県		
利用港湾			敦賀港	四日市港	敦賀港	四日市港	敦賀港	四日市港	船型:1,000TEU
①	年間貨物量	TEU/年	37		5		0		
	個数								W80:R3実績
	輸出 20ft	個/年	11	11	1	1	0	0	
	輸出 40ft	個/年	12	12	1	1	0	0	
	輸入 20ft	個/年	0	0	0	0	0	0	
	輸入 40ft	個/年	1	1	1	1	0	0	
	タイプ別個数								
	20ft 計	個/年	11	11	1	1	0	0	
	40ft 計	個/年	13	13	2	2	0	0	
	出入別個数								
	輸出 計	個/年	23	23	2	2	0	0	
	輸入 計	個/年	1	1	1	1	0	0	
②	陸上輸送距離(片道)								加重平均距離
	一般道路	km	98.0	17.9	41.3	66.0	60.4	42.0	
	高速道路	km	26.8	1.9	14.1	9.4	22.9	0.9	
	高速あり計	km	124.8	19.8	55.4	75.4	83.3	42.9	
	一般道路	km	121.4	20.9	55.2	75.4	80.1	43.0	
	往復	km	246.2	40.7	110.6	150.8	163.4	85.9	
③	陸上輸送単価								解説書(p.2-1-32)
	20ft	円/個	113,770	40,430	72,180	85,700	89,100	60,420	
	40ft	円/個	170,300	62,850	111,610	130,800	135,600	94,170	
	高速費	円/個	1,963	279	1,104	786	1,699	211	
④	年間陸上輸送費用								④=①*③
	20ft	千円/年	1,273	448	73	86	0	0	
	40ft	千円/年	2,239	821	225	263	0	0	
	計	千円/年	3,512	1,268	299	350	0	0	
⑤	陸上走行速度								解説書(p.2-1-28)
	一般道路	km/h	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	
	高速道路	km/h	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4	
⑥	陸上輸送時間								⑥=②/⑤
	一般道路	時間	2.9	0.5	1.2	2.0	1.8	1.3	
	高速道路	時間	0.4	0.0	0.2	0.1	0.3	0.0	
	計	時間	3.3	0.6	1.4	2.1	2.1	1.3	
⑦	時間費用単価								解説書(p.2-1-34)
	輸出 20ft	円/時・個	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
	輸出 40ft	円/時・個	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	
	輸入 20ft	円/時・個	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
	輸入 40ft	円/時・個	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	
⑧	年間陸上輸送時間費用								⑧=①*⑥*⑦
	輸出 20ft	千円/年	58	11	2	3	0	0	
	輸出 40ft	千円/年	91	17	3	5	0	0	
	輸入 20ft	千円/年	0	0	0	0	0	0	
	輸入 40ft	千円/年	6	1	3	4	0	0	
	計	千円/年	155	28	8	12	0	0	
⑨	年間陸上輸送費用計	千円/年	3,668	1,297	307	362	0	0	⑨=④+⑧
⑩	海上輸送距離(片道)	海里	816	907	816	907	816	907	距離表(海上保安庁)
⑪	海上輸送速度	ノット	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	解説書(p.2-1-30)
⑫	輸送時間	日	2.6	2.9	2.6	2.9	2.6	2.9	⑫=⑩/⑪/24h
⑬	海上輸送単価								解説書(p.2-1-33)
	20ft	円/個	17,969	19,466	17,969	19,466	17,969	19,466	
	40ft	円/個	26,959	29,203	26,959	29,203	26,959	27,408	
⑭	年間海上輸送費用								⑭=①*⑬
	20ft	千円/年	198	214	18	19	0	0	
	40ft	千円/年	350	380	54	58	0	0	
	計	千円/年	548	594	72	78	0	0	
⑮	時間費用単価								解説書(p.2-1-34)
	輸出 20ft	円/時・個	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
	輸出 40ft	円/時・個	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	
	輸入 20ft	円/時・個	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
	輸入 40ft	円/時・個	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	
⑯	年間輸送時間費用								⑯=①*⑫*24h*⑮
	輸出 20ft	千円/年	1,107	1,229	101	112	0	0	
	輸出 40ft	千円/年	1,735	1,928	145	161	0	0	
	輸入 20ft	千円/年	0	0	0	0	0	0	
	輸入 40ft	千円/年	113	126	113	126	0	0	
	計	千円/年	2,955	3,282	358	398	0	0	
⑰	年間海上輸送費用計	千円/年	3,503	3,876	430	476	0	0	⑰=⑭+⑯
⑱	年間輸送コスト削減便益	千円/年	7,171	5,173	737	838	0	0	⑱=⑨+⑰
		千円/年	1,998		-101		0		Without時-With時
		億円/年	0.02		-0.00		0.00		



[臨港道路整備による輸送時間削減・輸送費用削減・交通事故削減便益]

対象プロジェクトの実施により、周辺道路の混雑が緩和されたため、輸送時間・輸送費用・交通事故が削減された。

【便益算定結果】

(単位:億円/年)

項目	Without時	With時	便益(差額)
輸送時間費用便益	259.8	236.9	22.9
輸送費用便益	77.4	73.8	3.6
事故損失額	18.2	17.2	1.0
合計	355.4	327.9	27.5

事業名	四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業
-----	-------------------------------

## (1)建設費内訳

項目	単位	数量	金額(億円)
工事費			
岸壁(水深14m)			
本體工 他一式	m	330	136.3
泊地(水深14m)			
浚渫工	ha	63	72.6
防波堤(霞)			
本體工 他一式	m	200	19.2
臨港道路(霞4号幹線)			
橋梁工 他一式	km	4.1	454.6
荷役機械			
ガントリークレーン製作工 他一式	基	3	27.9
ふ頭用地			
用地造成	ha	18	109.4
間接経費	工事費に含む		0.0
合計			820.0

## (2)管理運営費等

項目	単位	数量	金額(億円)
管理運営費等	式	1	20.8

## (3)再投資費

項目	単位	数量	金額(億円)
再投資費	式	1	55.8